

ディスコグラフィ（録音作品目録）について

ディスコグラフィの補足

下記の録音は、私の著書「カルロス・クライバー ある天才指揮者の伝記」の初版発行以後に公表されたものである。

補足のディスコグラフィは、第2版に記載される。

ジュゼッペ・ヴェルディ： ファルスタッフ

ノルマン・ミッテルマン、ヴィリアム・ユストウス、リヒャルト・ファン・フルーマン、パオル・シュペーニ、エルンスト＝アオグスト・シュタインホフ、ゲリー・デ・グロート、エーリカ・ヴィーン、エレン・クンツ、フランツ・ドロスク
チューリッヒ歌劇場、1965年6月7日付、チューリッヒ
CVR、公表： 2009年

日付および上演は、チューリッヒ公文書館では立証できなかった。但し歌手の配役は、1965年3月4日のクライバーの上演と一致しており、立証済みである。

リヒャルト・シュトラウス： ばらの騎士

クレア・ワトソン、カール・リッターブッシュ、ブリギッテ・ファスベンダー、ベンノ・クッシュェ、ヒルダ・デ・グローテ、
バイエルン国立歌劇場、1973年7月13日、ミュンヘン、バイエルン放送
Orfeo CD/スーパーオーディオ CD、公表： 2008年

生録音としては、公式で公認された最初の公表である。

アルバン・ベルク： ヴォツェック

バイエルン国立歌劇場、ミュンヘン、1970年11月27日初演、テオ・アダム、ウエンディ・ファイン、フリッツ・ウール、ジョージ・パスクーダ、マックス・プレストル オペラ・デポット (OD 10250-2)、公表： CD 2008年

リヒャルト・シュトラウス： ばらの騎士

フェリシティ・ロット、クルト・モル、アンネ・ゾフィー・フォン・オッター、バーバラ・ボニー、

ウィーン国立歌劇場オーケストラ

1994年 ウィーンからの見本録音、アドビアンコールのDVD 2952、公表： 2008年

ジュディス・ベックマン、ハンス・ゾーティン、ブリギッテ・ファスベンダー、ベンノ・クッシュェ、バーバラ・ボニー、

バイエルン国立管弦楽団およびバイエルン国立歌劇場合唱団、

AD: 1984年7月12日、ミュンヘン、バイエルン国立歌劇場、

公表： CD 2008年、オペラの家。

ジュゼッペ・ヴェルディ： 椿姫

エディタ・グルベローヴァ、マリアンネ・ザイベル、ニール・シコフ、ヴォルフガング・ブレンデル、ヘレーネ・ユングヴィルト

バイエルン国立管弦楽団およびバイエルン国立歌劇場合唱団、

AD: 1985年5月29日、ミュンヘン、バイエルン国立歌劇場、

公表： CD 2008年、オペラの家。

ジャコモ・プッチーニ： ラ・ボエーム

ミレッラ・フレニ、ルチアーノ・パヴァロッティ、ヴォルフガング・ブレンデル、

バイエルン国立管弦楽団およびバイエルン国立歌劇場合唱団、

AD: 1983年7月16日、ミュンヘン、バイエルン国立歌劇場、

公表： CD 2008年、ライブ・レア・オペラ。

リヒャルト・ワーグナー： トリスタンとイゾルデ

スパス・ウェンコフ、カタリーナ・リゲンツァ、イヴォンヌ・ミントン、ドナルド・マック
キンタイヤー、カール・リッターブッシュ

バイロイト音楽祭、バイロイト、1976年7月30日、オペラ・デポット、OD 10262-3、公
表： 2008年

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン：

交響曲第5番、コリオラン

ヨハン・シュトラウス 2 世:

こうもり (序曲)、雷雨の下で、

ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団

AD: 1981年4月27日、グアナフアト、テアトロ・フアレス、メキシコ (テレビにて)、

公表: DVD 2005年、CVR

ディスコグラフィへの注

カルロス・クライバーの録音のうち、私のクライバーの伝記の出版済み初版に掲載のディスコグラフィには、2007年12月までに公表のすべての録音が、そして第2版には2009年3月までに公表のすべての録音が、それぞれ一覧されている。取り上げなかったのは、未公表の録音およびラジオ放送の証拠資料である。但し多数の非公式な録音のほかに、未公表の公式な録音記録も、ラジオ放送局、歌劇場、オーケストラのもとにある。いくつかのラジオ録音は行方がわからなくなっているか、非公式なラジオ録音として保存されている。これらラジオ録音は、以下において選択的に記されている。

カール・フィリップ・エマヌエル・バッハ: チェロ協奏曲変ロ長調

イレーネ・ギューデル、チェロ、ハンブルク放送管弦楽団、北ドイツ放送スタジオ協奏曲、

「青年たちの指揮台」、1960年12月7日、生放送

カルロス・クライバーとのインタビュー、

協奏曲の休憩時間、北ドイツ放送スタジオ協奏曲、「青年たちの指揮台」、1960年12月7日、生放送

(ゲオルク・フィリップ・テレマン: テーブル・ミュージック 変ロ長調、ボフスラフ・マルティヌー: ハインツ・ホリガーとのオーボエ協奏曲、マヌエル・デ・ファリャ: 「三角帽子」から3つの舞曲。これらは所在がわからない。私の著書に記してあるように、テレマンのものは1960年12月1日および2日付のスタジオ演奏である。北ドイツ放送により保管されているが、今まで誤った日付で非公式にのみ公表されている。)

ジャック・オッフエンバック： オッフエンバック三部作

「小さな魔笛」「カンテラのもとで婚約」「チュリパタン島」

ライン河畔ドイツ・オペラ、デュッセルドルフ、1962年12月1日

1963年7月14日、第2ドイツテレビの中継放送から非公式に音声を取った。メロドラマ版では、最初の何小節か、ならびに3番目の一幕劇全部が欠けている。

ヨハン・シュトラウス 2世： こうもり (フランス語)

モーリス・ブザンソン、テレサ・シュティヒ・ランダル、ルクミニエー・スクマワティ、フーゲス・ケノート

スイス・ロマンド管弦楽団、グラン・テアトル、ジュネーヴ、音楽の夕べの上演、1966年1月2日

ロベルト・シューマン： ピアノ協奏曲イ短調

クリストフ・エッシェンバッハ、ピアノ、プラハ交響管弦楽団、プラハの春音楽祭、1968年5月25日、チェコ・ラジオの記録保管所

(アントニン・ドヴォルザーク： 協奏曲序曲「謝肉祭」、およびルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン： 交響曲第7番イ長調。これらは所在が不明である。)

ヨハン・シュトラウス 2世： 「こうもり」序曲、カール・マリア・フォン・ウェーバー： 「魔弾の射手」序曲

南ドイツ放送の交響楽団、南ドイツ放送のラジオ録音スタジオ、1969年12月29日、南西ドイツ放送の記録保管所。私の著書に記してあるように、「魔弾の射手」序曲のみ、1970年にLPレコードで公表された。

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト： 交響曲第33番、リヒャルト・シュトラウス： 英雄の生涯

ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団、ウィーン、1993年5月16日。ライブコンサートの公式のCD版は、ソニーの上演および見本の録音を使用。未公表。



カルロス・クライバーは、彼の 1993 年のウィーンでのコンサートについて、その完成したソニーCD 演奏のリリースを、公表の直前に撤回した。それ以来、見本の資料も使って編曲した録音は保管されている。

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン: コリオラン、ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト: 交響曲第 33 番、ヨハネス・ブラームス: 交響曲第 4 番
スロベニア・フィルハーモニー、リュブリャナ、ガルス・ホール、1997 年 6 月 6 日（スロベニア・テレビ、未公表。）

ジャコモ・プッチーニ: ラ・ボエーム

ウィーン国立歌劇場、ウィーン、1985 年 1 月 21 日、オーストリア放送協会のラジオ録音

そのほかに未公表の部内の録音が多数ある。特にミュンヘン、ミラノ、日本、ロンドン、ニューヨークのものである。さらに例えば、1989 年のベルリン・フィルハーモニー管弦楽団との完全なコンサート、ならびに 1969 年の「トリスタン」、1971 年の「エレクトラ」の初演、同年のヴォルフガング・ヴィントガッセンとの「オテロ」、同年の「ばらの騎士」など、シュトゥットガルトでの様々なオペラ録音、そして特にミュンヘンやミラノの歌劇場の録音記録集がある。そのようにしてイタリアのイタリア放送協会が、例えば 1981 年のミラノでのロンドン交響楽団とのクライバーのコンサートから、抜粋曲を放送した。